
プリマハムグループ

環境データブック
2019

目次

- 1 プリマハムグループ環境方針
- 2 環境マネジメント重点課題一覧
おもな環境目標
- 3 環境負荷の全体像
パフォーマンスデータ
- 4 廃棄物排出量
リサイクル率
2018年度廃棄物排出量内訳
エネルギー消費量
CO₂排出量
水使用量
- 5 営業車両燃費
輸送エネルギー量
環境対応商品に該当する「社内基準」
ISO 14001認証事業所別データ
- 6 ISO 14001認証事業所
- 7 エネルギー消費量、CO₂排出量
水使用量
- 8 廃棄物排出量、リサイクル率
大気汚染物質の管理状況
- 9 排水の水質管理状況

プリマハムグループ環境方針

プリマハムグループは、「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化に貢献していく」という基本的な考えのもとに事業展開しています。

食品企業である私たちは、製品原材料の多くを自然の恵みから享受しており、その豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。

地球環境保全は経営の最重要課題のひとつであると認識し、持続可能な社会の実現に向け、以下の行動指針に基づき、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営を推進します。

【行動指針】

1. あらゆる事業活動において、エネルギー・水資源の有効利用および廃棄物の削減・再資源化等、環境負荷の極小化に取り組みます。
2. 開発・設計から原材料の調達・製造・物流・販売・廃棄にいたるまでのライフサイクル全体を考慮し、環境負荷低減に寄与する製品・サービスの提供および技術の研究に努めます。
3. 関連する環境法規制等を順守することはもとより、自主管理基準を設定し、環境リスクの未然防止に努めます。
4. 良き企業市民として、地域社会との共生に配慮した事業活動を行うとともに、環境保護活動に積極的に参加します。
5. 環境情報を広く適切に開示し、社会とのコミュニケーションをはかります。
6. 従業員の環境意識の向上を目的として、環境教育を継続的に実施します。

プリマハム株式会社
代表取締役社長 千葉 尚登

制定 2003年10月10日
最終改定 2013年9月1日

対象期間

2018年度(2018年4月～2019年3月)を中心としていますが、一部それ以外のデータも掲載しています。

対象範囲

プリマハム株式会社およびプリマハムグループ会社の一部(計6社[※])の報告を対象としています。特定の範囲の記述については注記しています。

参考にしたガイドライン

「環境報告ガイドライン(2018年版)」(環境省)

※秋田プリマ食品(株)、プリマ食品(株)、プライムフーズ(株)、四国フーズ(株)、熊本プリマ(株)、プリマルーケ(株)

環境マネジメント重点課題一覧

商品ライフサイクル	重点取り組み事項	環境影響	おもな取り組み
原料	養豚・養牛・養鶏場の悪臭、排水、騒音など	地域環境問題	環境法令チェックシートによる管理
	養豚・養牛・養鶏における排泄物からのメタン排出	温暖化・気候変動	メタン回収技術調査
調達	梱包材(プラスチックシート)廃棄	廃棄物問題	リサイクル処理
開発	商品販売後の包装材の廃棄	廃棄物問題 海洋汚染・生物多様性への影響	商品包装の軽量・薄型化および包装素材の環境技術の導入素材、環境情報提供に関する承認プロセス
生産	製造過程で排出される製品廃棄物	廃棄物問題	工程改善活動、歩留まり向上管理
	製造工程でのエネルギー使用に伴う温室効果ガスの排出	温暖化・気候変動	工程改善活動、生産効率向上、省エネ設備などの導入推進、再生可能エネルギーの活用
	製造工程での水使用	天然資源枯渇	工程改善活動、生産効率向上、節水設備などの導入
	工場排水の排出	水質汚染・生物多様性への影響	排水処理設備の適正管理
	冷蔵冷凍設備からのフロン漏洩	温暖化・気候変動	自主点検、定期点検
物流	冷蔵冷凍設備によるエネルギー使用	温暖化・気候変動	設備の適正管理、更新
	冷蔵冷凍設備からのフロン漏洩	温暖化・気候変動	自主点検、定期点検
	物流車両の燃料消費に伴う温室効果ガスの排出	温暖化・気候変動	物流効率改善、共同配送、モーダルシフトの推進
販売	不良・返品による商品廃棄	廃棄物問題	商品減耗、不良ロス、返品商品の管理・低減
消費	お客さまによる商品廃棄	廃棄物問題	食育事業における食品ロス問題の啓発
管理	オフィス業務によるエネルギー使用	温暖化・気候変動	省エネ活動の推進
	屋外タンクからの油類、薬品の流出	水質汚染・生物多様性への影響	日常点検、緊急時対応
その他	環境負荷低減につながる技術研究	—	環境技術の調査研究
	環境コミュニケーションの拡充	—	環境情報の積極的開示(統合報告書・Webサイト)

おもな環境目標

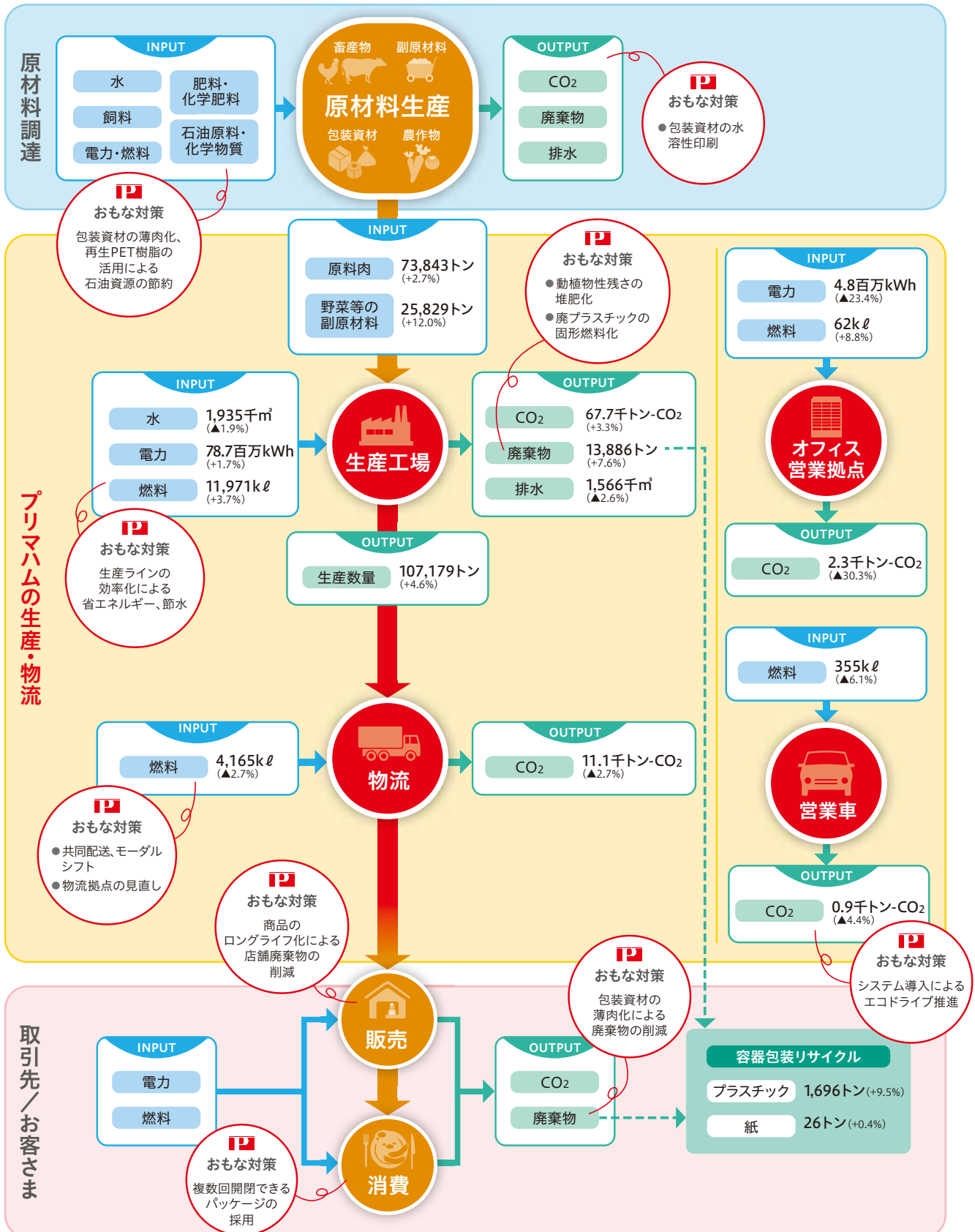
環境方針	重点取り組み事項	取り組み指標	単位	2018年度目標	2018年度実績	評価	達成率	2019年度目標	2020年度目標
廃棄物の削減	製造工程から排出される廃棄物の削減 ※1	廃プラスチックの廃棄量低減 (廃棄物量/生産数量)	kg/トン	19.0	22.8	×	83%	19.0	18.8
		食品廃棄物の廃棄率低減 (廃棄物量/原料仕入量)	%	2.26	2.37	×	95%	2.26	2.24
エネルギーの削減	製造工程のエネルギー削減 ※1	エネルギー使用量原単位 (原油換算値/生産数量)	ℓ/トン	307	276	◎	111%	273	271
	オフィス・ユーティリティのエネルギー削減 ※2	電力使用量	千kWh	2,322	2,088	◎	111%	2,073	2,051
	物流におけるCO ₂ 排出量削減	エネルギー使用量原単位 (原油換算値/取り扱い数量)	ℓ/トン	5.97	5.34	◎	112%	5.60	5.46
水の削減	工場の水使用量(井戸水、上水道)削減 ※1	水の使用量原単位 (水使用量/生産数量)	m ³ /トン	18.7	16.7	◎	112%	16.7	16.4

※1 プリマハム(株)生産拠点4工場、秋田プリマ食品(株)、プリマ食品(株)、プライムフーズ(株)、四国フーズ(株)、熊本プリマ(株)、プリマルーケ(株)

※2 プリマハム(株)品川本社、近畿センター

環境負荷の全体像

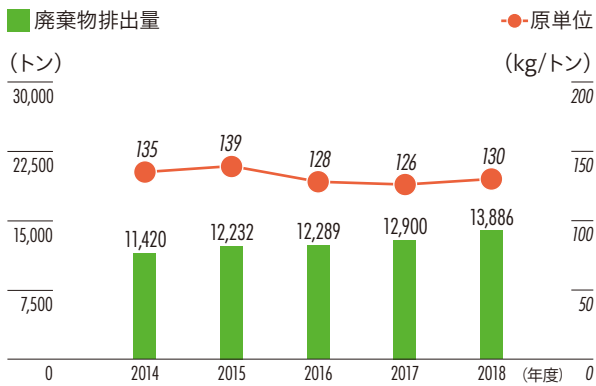
※カッコ内数値は対前年度比



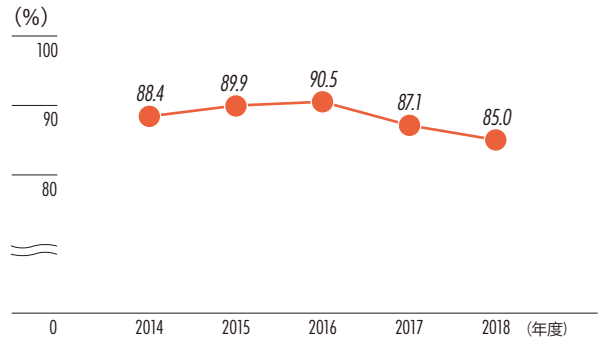
※データの対象範囲は、プリマハム(株)本社・営業拠点6支店26営業所・生産拠点4工場・物流センター3ヶ所・研究機関2ヶ所、秋田プリマ食品(株)、プリマ食品(株)、プライムフーズ(株)、四国フーズ(株)、熊本プリマ(株)、プリマルーケ(株)

パフォーマンスデータ

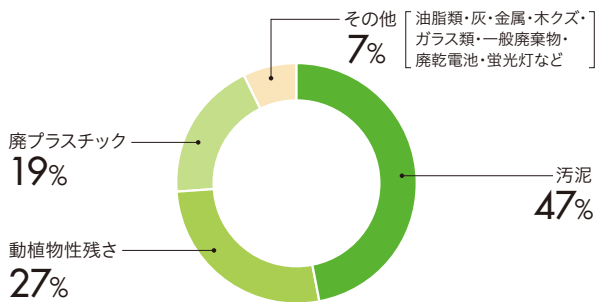
廃棄物排出量(10工場※1)



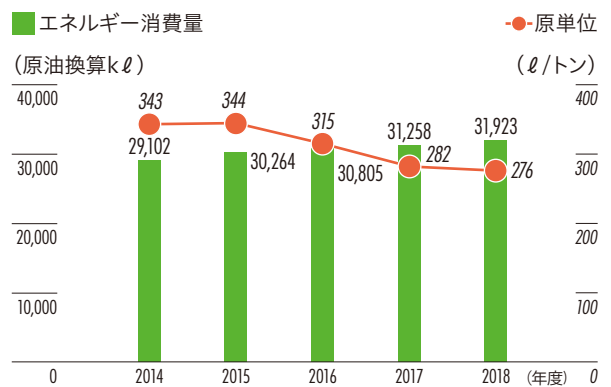
リサイクル率



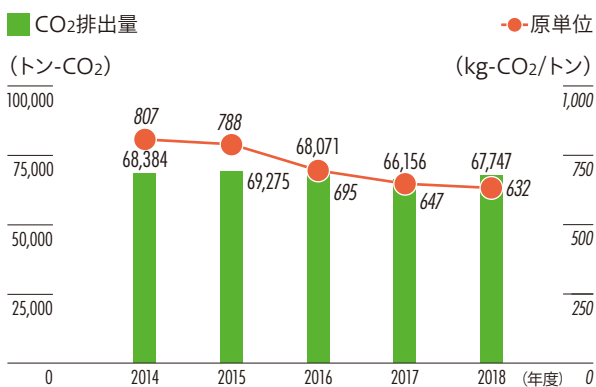
2018年度廃棄物排出量内訳



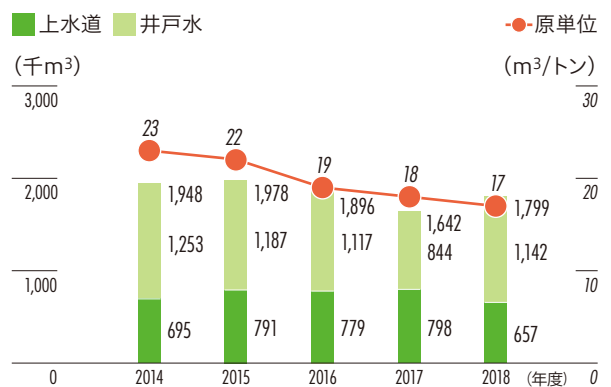
エネルギー消費量(10工場※1)



CO₂排出量(10工場※1)

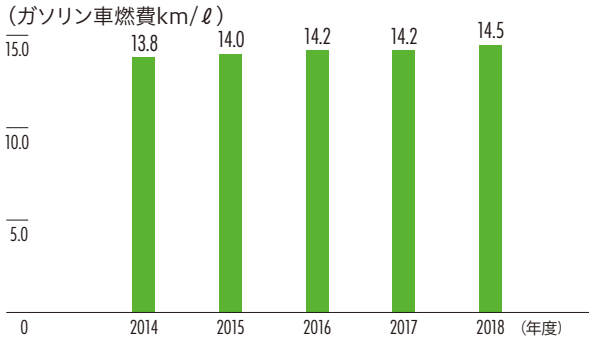


水使用量(10工場※1)

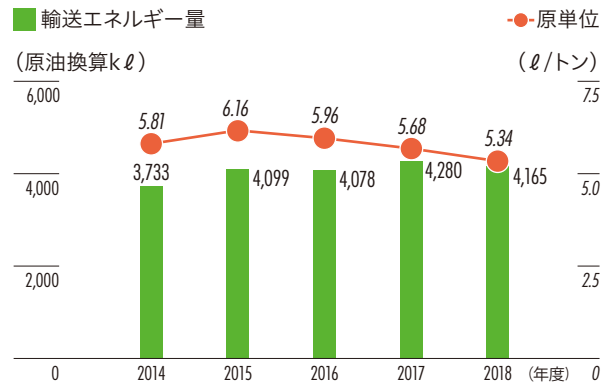


※1 10工場: プリマハム(株)生産拠点4工場、秋田プリマ食品(株)、プリマ食品(株)、プライムフーズ(株)、四国フーズ(株)、熊本プリマ(株)、プリマルーケ(株)

営業車両燃費(年平均)



輸送エネルギー量



環境対応商品に該当するための「社内自主基準」

容器包装に関するもの	省包材	フィルムの薄肉化 ① サイズ軽量化 ② ノントレイ化 外箱(段ボール)のサイズ・入数の見直し
	包装資材のVOC(揮発性有機化合物)削減	水溶性印刷の活用 ③ 溶剤使用量の削減(接着剤の有機溶剤不使用など)
	非プラスチック包材の活用	植物性包材の活用 無機系樹脂の活用
	フタピタ®(リシールフィルム)機能の活用	
	ノンセパレートラベルの活用	
	再生PET樹脂の活用 ④	
	箱包材への再生紙利用	
商品特性に関するもの	調理における省エネ	自然解凍可能商品への切り替え 常温保存可能商品への切り替え
	廃棄物削減	可食ケーシング使用
	調理器具不使用による環境保全	

① フィルムの薄肉化

スライスサラミのフィルムの厚みを薄くし(86ミクロン→76ミクロン)、プラスチック使用量を削減

② サイズ軽量化

フライドチキンのパッケージサイズを小さくし(長さ240mm→230mm)、プラスチック使用量を約1.5トン/年削減



③ 水溶性印刷の活用

ミートボールの包装材に使用している印刷インクを油性インクから水溶性インクに変更し、包装材製造時のCO₂排出量を約3.5トン/年削減



④ 再生PET樹脂の活用

生ハムの包装材に使用しているPET樹脂を、回収されたペットボトルなどのリサイクル材からつくられた再生PET樹脂に置き換え



ISO 14001 認証事業所別データ

ISO 14001 認証事業所

事業内容	箇所名		所在地	生産数量(トン)
ハム・ソーセージの製造	プリマハム(株)	北海道工場	北海道上川郡	4,885
		茨城工場	茨城県土浦市	37,692
		三重工場	三重県伊賀市	27,879
		鹿児島工場	鹿児島県いちき串木野市	11,245
加工食品・惣菜の製造	秋田プリマ食品(株)		秋田県由利本荘市	6,464
	プリマ食品(株)		埼玉県比企郡	5,267
	プライムフーズ(株)		群馬県前橋市	3,258
	四国フーズ(株)		香川県丸亀市	2,702
	熊本プリマ(株)		熊本県菊池市	6,577
	プリマルーケ(株)		長崎県雲仙市	1,196
営業・事務部門(オフィス)	プリマハム(株)	品川本社	東京都品川区	—
		近畿センター	大阪府大阪市	—

ISO 14001 認証事業所別データ

エネルギー消費量、CO₂排出量

箇所名 年度	購入電力量(千kWh)			燃料使用量(原油換算 kℓ)			CO ₂ 排出量(トンCO ₂)		
	2016	2017	2018	2016	2017	2018	2016	2017	2018
北海道工場	5,042	5,011	4,717	609	610	580	4,961	4,754	4,645
茨城工場	22,499	23,570	24,597	2,426	2,543	2,640	17,419	17,299	18,230
三重工場	15,895	14,430	14,723	2,226	2,530	2,620	12,648	13,741	13,943
鹿児島工場	6,233	6,356	6,218	1,211	1,451	1,469	6,482	6,201	6,596
秋田プリマ食品(株)	5,188	5,205	5,113	748	731	700	4,898	4,911	4,522
プリマ食品(株)	6,185	5,866	5,658	1,585	1,438	1,397	6,101	5,548	5,375
プライムフーズ(株)	4,164	4,409	4,828	322	371	406	2,858	3,022	3,317
四国フーズ(株)	2,667	2,709	2,810	370	435	529	2,752	2,502	2,808
熊本プリマ(株)	6,262	4,723	4,833	991	709	885	5,469	4,069	4,342
プリマルーケ(株)	1,547	1,475	1,468	253	226	237	1,398	1,231	1,170
品川本社	401	393	395	47	52	60	273	271	285
近畿センター	1,909	1,847	1,693	28	26	28	1,000	988	790

水使用量

箇所名 年度	水使用量(千m ³)			
		2016	2017	2018
北海道工場	上水道	26	15	14
	井戸水	156	164	157
茨城工場	上水道	33	26	25
	井戸水	523	546	509
三重工場	上水道	151	165	168
	井戸水	192	225	217
鹿児島工場	上水道	197	233	224
	井戸水	—	—	—
秋田プリマ食品(株)	上水道	85	88	93
	井戸水	—	—	—
プリマ食品(株)	上水道	123	106	100
	井戸水	—	—	—
プライムフーズ(株)	上水道	—	—	—
	井戸水	85	96	101
四国フーズ(株)	上水道	22	24	32
	井戸水	16	18	15
熊本プリマ(株)	上水道	—	—	—
	井戸水	110	105	110
プリマルーケ(株)	上水道	—	—	—
	井戸水	35	35	34
品川本社	上水道	—	—	—
近畿センター	上水道	12	15	13
	井戸水	—	—	—

※—は当該項目対象外です

ISO 14001 認証事業所別データ

廃棄物排出量、リサイクル率

箇所名 年度	排出量(トン)			リサイクル率(%)		
	2016	2017	2018	2016	2017	2018
北海道工場	524	512	501	82	76	78
茨城工場	1,077	1,313	1,805	99	72	70
三重工場	2,110	2,514	2,682	100	100	100
鹿児島工場	1,732	2,125	2,442	89	86	88
秋田プリマ食品(株)	1,166	1,473	1,598	60	64	73
プリマ食品(株)	1,636	1,536	1,182	100	100	100
プライムフーズ(株)	692	736	771	100	100	100
四国フーズ(株)	1,041	796	1,293	71	71	58
熊本プリマ(株)	2,117	2,156	1,462	96	89	89
プリマルーケ(株)	194	174	150	88	100	100

大気汚染物質の管理状況(2018年度)

箇所名	設備	ばいじん量(g/Nm ³)		SOx(Nm ³ /h)		NOx(ppm)	
		規制値	実測最大値	規制値	実測最大値	規制値	実測最大値
北海道工場	ボイラー	0.3	0.01	3.90	0.08	180	100
茨城工場	ボイラー	—	—	—	—	—	—
三重工場	ボイラー	—	—	—	—	—	—
	発電機	0.1	0.021	2.30	0.09	950	910
鹿児島工場	ボイラー	0.3	0.031	5.06	0.10	260	116
	発電機	0.1	0.043	1.09	0.12	950	756
秋田プリマ食品(株)	ボイラー	0.3	0.01未満	17.00	0.13	180	110
	ボイラー	0.3	0.01未満	0.51	0.11	180	120
プリマ食品(株)	ボイラー	—	—	—	—	—	—
プライムフーズ(株) 本社工場	ボイラー	—	—	—	—	—	—
	カ丸工場	—	—	—	—	—	—
四国フーズ(株)	ボイラー	—	—	—	—	—	—
熊本プリマ(株)	ボイラー	—	—	0.74	0.26	—	—
	発電機	0.1	0.04	1.90	0.17	950	390
プリマルーケ(株)	ボイラー	—	—	—	—	—	—

排水の水質管理状況(2018年度)

箇所名	pH			BOD(mg/ℓ)		
	規制値	最大	最小	規制値※1	最大	最小
北海道工場	5.8~8.6	7.5	6.9	60	94	3.6
茨城工場	5.8~8.6	7.8	6.4	15	120	0.8
三重工場	5.8~8.6	7.8	7.1	25	3.2	0.6
鹿児島工場	5.8~8.6	7.7	7.4	30	27	5.4
秋田プリマ食品(株)	5.8~8.6	8.3	7.5	30	5.9	0.5未満
プリマ食品(株)	5.8~8.6	8.2	7.9	25	4.2	0.9
プライムフーズ(株) 本社工場	5.8~8.6	7.8	7.4	25	3	1
力丸工場	5.8~8.6	7.9	7.5	25	15	1未満
四国フーズ(株)※2	5.0~9.0	8.9	5.8	600	91	1未満
熊本プリマ(株)	5.8~8.6	7.2	7.8	40	7	1未満
プリマルーケ(株)	5.8~8.6	7.7	7.4	160	7	2

※1 日間平均値

※2 公共下水道の排出基準に準じて下水放流しています